

## 2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪急電鉄株式会社
期間中の総整備費	18,833 百万円
期間中の総徴収額	10,751 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名	計画数		整備数		進捗率
可動式ホーム柵	8 駅	24 番線	7 駅	24 番線	100 %
固定式ホーム柵	14 駅	25 番線	14 駅	25 番線	100 %
エレベーター	0 駅	0 基	0 駅	0 基	- %
エスカレーター	0 駅	0 基	0 駅	0 基	- %
スロープ	0 駅	0 ヶ所	0 駅	0 ヶ所	- %
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	0 駅	0 番線	- %
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	0 駅	0 番線	- %
バリアフリートイレ	2 駅	2 ヶ所	2 駅	2 ヶ所	100 %
車両のフリースペース	3 編成	24 両	3 編成	24 両	100 %
その他	0	駅	0	駅	- %
備考					

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中の可動式ホーム柵設置番線数・段差解消駅数		
可動式ホーム柵設置番線数	24 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

## 2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備費
可動式ホーム柵	7 駅	24 番線	11,922 百万円
固定式ホーム柵	14 駅	25 番線	2,002 百万円
エレベーター	0 駅	0 基	0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基	0 百万円
スロープ	0 駅	0 ヶ所	0 百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	0 百万円
段差隙間縮小	0 駅	0 番線	0 百万円
バリアフリースイレ	2 駅	2 ヶ所	27 百万円
車両のフリースペース	3 編成	24 両	34 百万円
その他		各 駅	134 百万円
備考	【その他】 ホームドア遠隔監視装置 視覚障がい者誘導用ブロック設置工事（池田） バリアフリー化に向けた計画検討（大阪梅田） バリアフリー化計画策定に伴う調査検討（中津）		
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備費
可動式ホーム柵	0 駅	0 番線	0 百万円
固定式ホーム柵	0 駅	0 番線	0 百万円
エレベーター	13 駅	27 基	1,119 百万円
エスカレーター	14 駅	47 基	1,540 百万円
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所	0 百万円
車両	0 編成	0 両	0 百万円
その他		各 駅	30 百万円
備考	【その他】 エレベーター遠隔監視装置ほか		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費	1,791	百万円*	
収受システム改修費	49	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	185	百万円	
備考	* 可動式・固定式ホーム柵・エレベーター・エスカレーター・点状ブロック等の維持管理		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

(1)設置・改良費

【可動式ホーム柵】

塚口駅（1.2番線）を26年4月供用開始とした一方で、高槻市駅（1.2番線）を26年3月供用開始としたため。

(塚口駅：2→0番線、高槻市駅：2→4番線)

【バリアフリースイレ】

設置工事費の増額のため（芦屋川）

【その他】

バリアフリー化に向けた測量・設計（中津）、調査検討（大阪梅田）について、

関係機関との調整や詳細設計に時間を要した結果、当初想定より進捗に遅れが生じたため。

(2)更新費

【その他】

エレベーターの安全運用のために戸開走行保護装置をつけたため。（六甲・桜井・富田・長岡天神）